



Creating the Future of Energy

2026年3月期 第3四半期 決算説明会



2026年2月4日

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

2026年3月期 第3四半期決算状況

2026年3月期 第3四半期決算におけるポイント	4
1. 売上高・利益	5
2. セグメント別業績	8
- 自動車電池（国内）	9
- 自動車電池（海外）	10
- 産業電池電源	11
- 車載用リチウムイオン電池	12
- 特殊電池およびその他	13
3. 貸借対照表	14

2026年3月期 事業環境認識と業績予想

1. 2026年3月期 第4四半期の事業環境認識	16
2. セグメント別業績予想の修正	17
3. 売上高・利益・配当予想の修正	18

2026年3月期 第3四半期決算状況

2026年3月期 第3四半期決算におけるポイント



2026年3月期 第3四半期業績 (4-12月)

	2024 年度 第3四半期 (4-12月)	2025 年度 第3四半期 (4-12月)	増減	前年比
売上高	4,268 億円	4,330 億円	+62 億円	+1.4 %
営業利益	318 億円	380 億円	+62 億円	+19.5 %
のれん等償却前営業利益	323 億円	386 億円	+63 億円	+19.3 %
経常利益	287 億円	368 億円	+81 億円	+28.1 %
親会社株主に帰属する四半期純利益	184 億円	221 億円	+37 億円	+20.0 %
のれん等償却前 親会社株主に帰属する四半期純利益	189 億円	226 億円	+37 億円	+19.6 %
EPS (1株当たり四半期純利益)	183.39 円	220.03 円	+36.64 円	+20.0 %

業績の動向

- 売上高および営業利益の増加要因：自動車電池（国内）、産業電池電源および車載用リチウムイオン電池の売価見直しに加え、販売数量増加
- 経常利益の増加要因 : 為替差損益の良化
- 四半期純利益の増加要因 : 上記要因に加え、遊休地の売却による固定資産売却益の計上

1. 売上高・利益

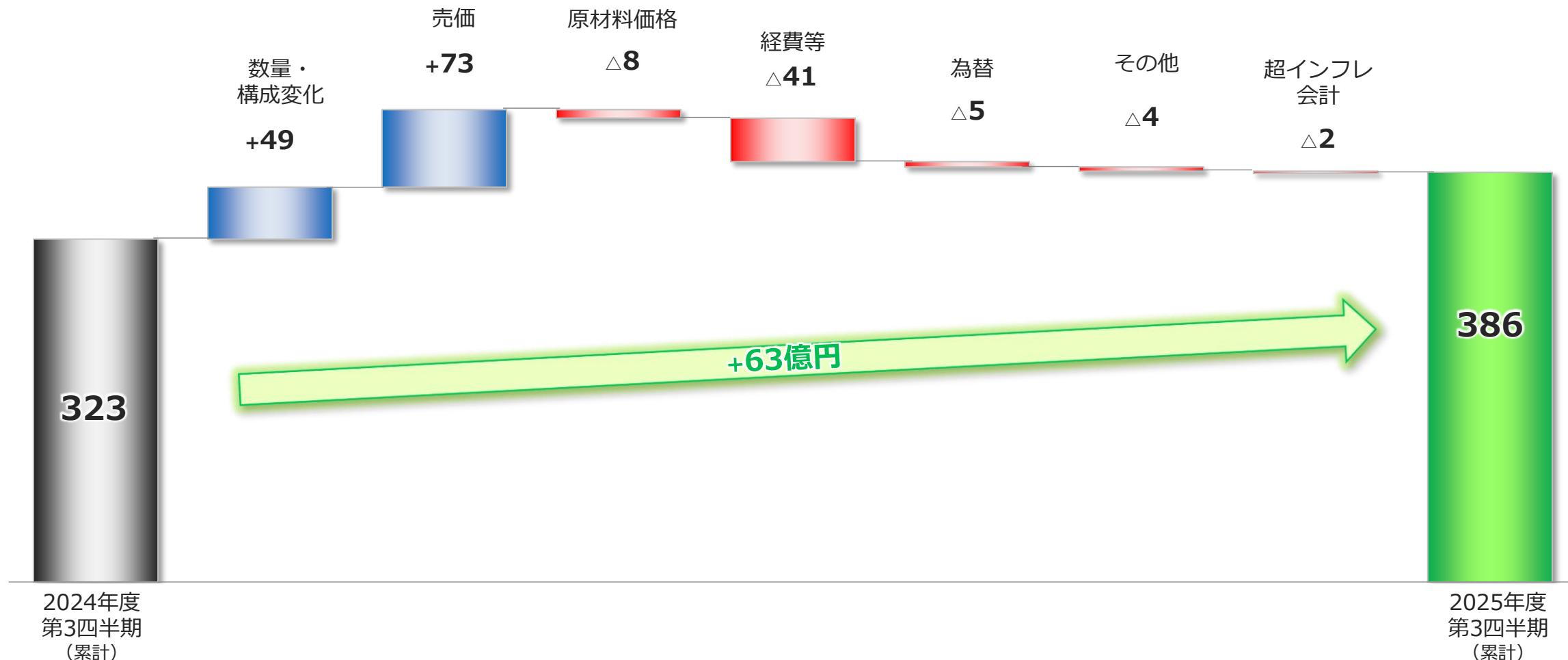


	2024 年度 第3四半期 (4-12月)	2025 年度 第3四半期 (4-12月)	増減	(前期比)	(億円)	
					[参考] 2025 年度予想 (4-3月)	当初予想 (2025.5)
					修正予想 (2026.2)	
売上高	4,268	過去最高 4,330	+62	(+1.4%)	6,000	6,000
売上総利益	996	1,080	+84		-	-
営業利益 (利益率)	318 7.4%	過去最高 380 8.8%	+62	+1.4P (+19.5%)	510 8.5%	535 8.9%
のれん等償却前営業利益 (利益率)	323 7.6%	過去最高 386 8.9%	+63	+1.3P	520 8.7%	545 9.1%
営業外収益	52	52	△0		-	-
営業外費用	82	64	△18		-	-
うち持分法による投資損益 (△は損失)	17	8	△9		-	-
経常利益	287 6.7%	過去最高 368 8.5%	+81	+1.8P (+28.1%)	490 8.2%	515 8.6%
特別利益	11	24	+13		-	-
特別損失	5	12	+7		-	-
税前四半期純利益	293	380	+87		-	-
法人税等	83	122	+39		-	-
非支配株主 四半期純利益	25	38	+13		-	-
親会社株主 四半期純利益 (利益率)	184 4.3%	過去最高 221 5.1%	+37	+0.8P (+20.0%)	330 5.5%	360 6.0%
のれん等償却前親会社株主 四半期純利益 (利益率)	189 4.4%	過去最高 226 5.2%	+37	+0.8P	340 5.7%	370 6.2%
EPS (1株当たり四半期純利益)	183.39 円	220.03 円	+36.64 円		328.99 円	358.88 円
CF計算書 関係	減価償却費 (のれん除く無形固定資産含む)	186	185	△1	-	-
	のれん償却費	3	3	+0	-	-
相場情報/ 前提条件	国内鉛建値 (万円/t)	38.02 万円/t	35.72 万円/t	△2.30 万円/t	36.9 万円/t	37.9 万円/t
	L M E (US\$/t)	2,071 US\$/t	1,961 US\$/t	△110 US\$/t	2,100 US\$/t	2,100 US\$/t
	為替 (円/US\$)	153.03 円/US\$	149.30 円/US\$	△3.73 円/US\$	145.00 円/US\$	150.00 円/US\$

1. 売上高・利益

営業利益増減要因 (前年比較)

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

1. 売上高・利益



営業外損益・特別損益・法人税等などの増減要因 (前年比較)

	2024 年度 第3四半期 (4-12月)	2025 年度 第3四半期 (4-12月)	増減	主な発生科目 () 内は増減要因
営業利益	318	380	+62	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 持分法による投資利益 8億円 (持分法損益の減少 △9億円)
営業外収益	52	52	△0	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 為替差益 2億円 (主にポンドの現地通貨高での差益拡大 +25億円)
営業外費用	82	64	△18	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 正味貨幣持高による利得 19億円 (トルコの超インフレ会計適用による増加 +2億円)
経常利益	287	368	+81	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 支払利息 48億円 (主にトルコ拠点での支払利息の増加 +12億円)
特別利益	11	24	+13	
特別損失	5	12	+7	
税金等調整前四半期純利益	293	380	+87	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 固定資産売却益 16億円 (遊休地の売却による収益 +16億円)
法人税等	83	122	+39	
非支配株主に帰属する四半期純利益	25	38	+13	
親会社株主に帰属する四半期純利益	184	221	+37	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 法人税等 122億円 (主に国内拠点の利益拡大による増加)

2. セグメント別業績



		2024 年度 第3四半期 (4-12月)		2025 年度 第3四半期 (4-12月)		増減		[参考] 2025 年度予想 (4-3月)	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	前回予想 (2025.5)	修正予想 (2026.2)
自動車 電池	国内	732	70 (9.6)	780	79 (10.2)	+48	+9 (+0.6)	1,000	110 (11.0)
	海外	1,993	142 (7.1)	1,947	161 (8.3)	△46	+19 (+1.2)	2,500	180 (7.2)
産業電池電源		772	101 (13.2)	824	102 (12.4)	+52	+1 (△0.8)	1,300	190 (14.6)
		604	△12 (△1.9)	616	27 (4.4)	+12	+39 (+6.3)	1,000	20 (2.0)
車載用 リチウムイオン電池		168	20 (12.2)	162	16 (9.9)	△6	△4 (△2.3)	200	20 (10.0)
		4,268	323 (7.6)	4,330	386 (8.9)	+62	+63 (+1.3)	6,000	520 (8.7)
合計								6,000	545 (9.1)

25年度 第3四半期 (4-12月) 市況

- 国内自動車生産は前年対比ほぼ横ばいで推移
- 国内インフラ需要は交換サイクルもあり堅調に推移するとともに、再工ネ需要は引き続き堅調に伸長
- LMEは安値で推移、国内鉛建値はLME安に加えて円高も進んだことで大きく下落もアンチモンなど一部原材料で高騰が見られる
- 為替は前年対比では円高水準

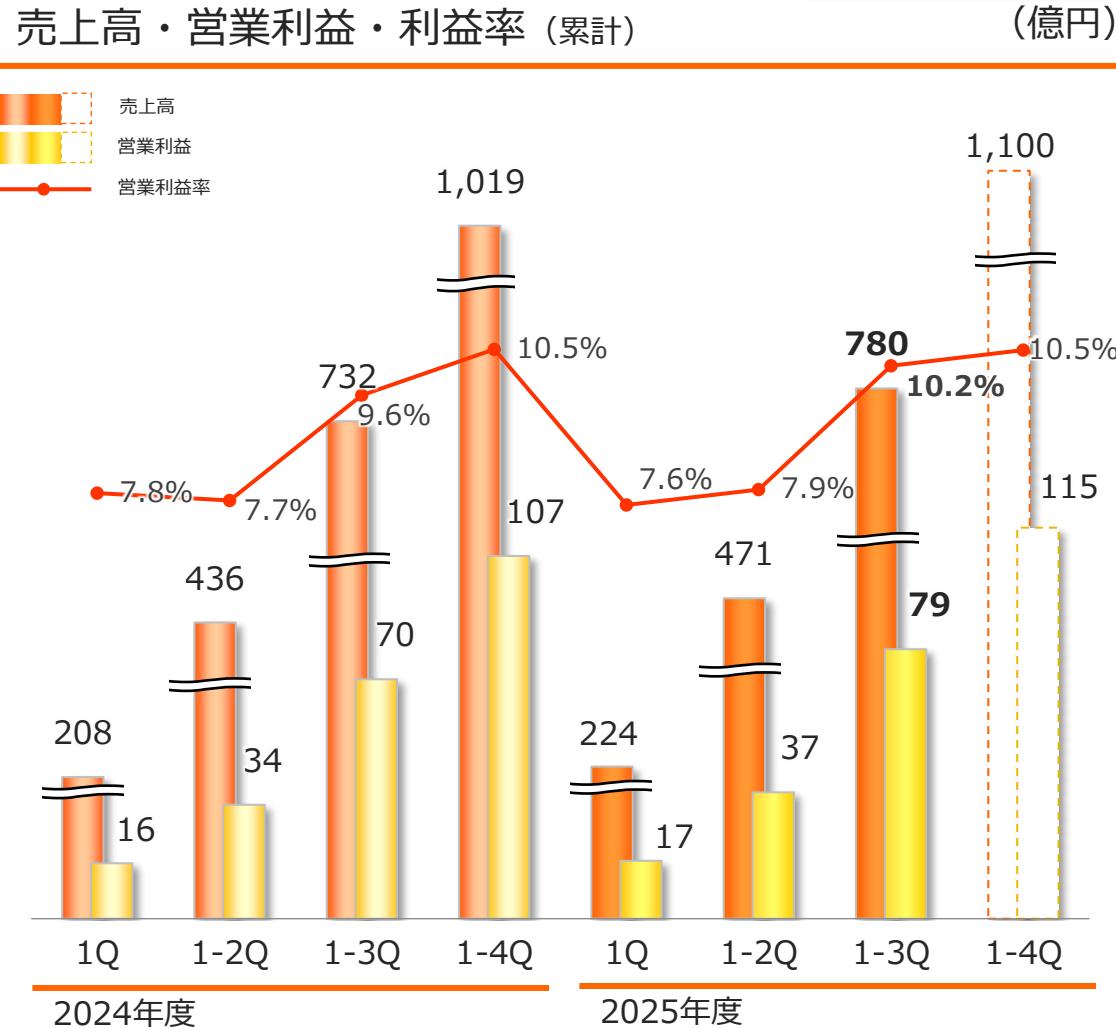
(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2. セグメント別業績 (自動車電池 (国内))



自動車電池 (国内)

増収増益



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2025年度 第3四半期商況 (前年比：4-12月)

➤ [新車向け]

販売数量はほぼ横ばいで推移する一方で、売価見直しおよびアンチモンの価格スライドにより売上高は増加

➤ [補修向け]

販売数量の増加に加えて、アイドリングストップ車用などの高付加価値製品の増加による製品ミックス良化により売上高は増加

増減益要因 (前年比：4-12月)

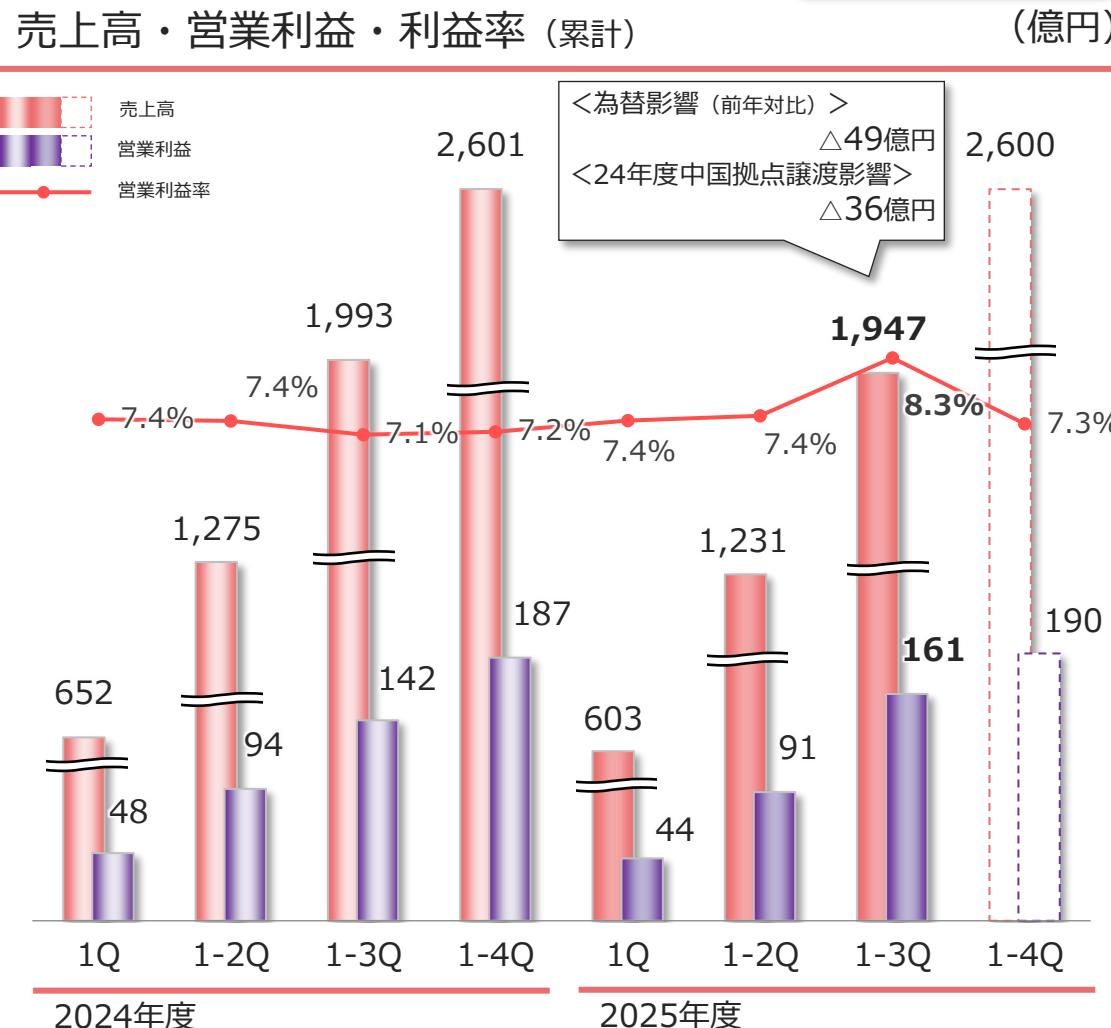
数量・構成変化	+7	補修向け数量増加
売価	+16	売価見直しおよびアンチモンの価格スライドにより増加
原材料価格	△3	国内鉛建値は下がっているものの、アンチモンなど一部原材料の高騰影響
経費等	△11	

2. セグメント別業績 (自動車電池 (海外))



自動車電池 (海外)

減収増益



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2025年度 第3四半期商況 (前年比：4-12月)

➤ [東南アジア]

タイおよびベトナムを中心とするアセアン地域では、補修市場における自動車用・二輪用の販売数量が堅調に推移

➤ [欧州・トルコ]

欧州については自動車用の販売数量が増加、トルコは市況の低迷を受けて国内販売が大きく減少

➤ [豪州]

「Made in Australia」で販売数量は引き続き堅調に推移

増減益要因 (前年比：4-12月)

数量・構成変化	△8	トルコ拠点の販売数量減
売価	+32	コスト上昇の売価反映により増加
原材料価格	△7	リラ安による原材料価格の高騰
経費等	+9	インフレに伴う経費増加があるものの、米国IRA補助金により改善
為替	△5	円高による換算影響
超インフレ会計	△2	

2. セグメント別業績 (産業電池電源)

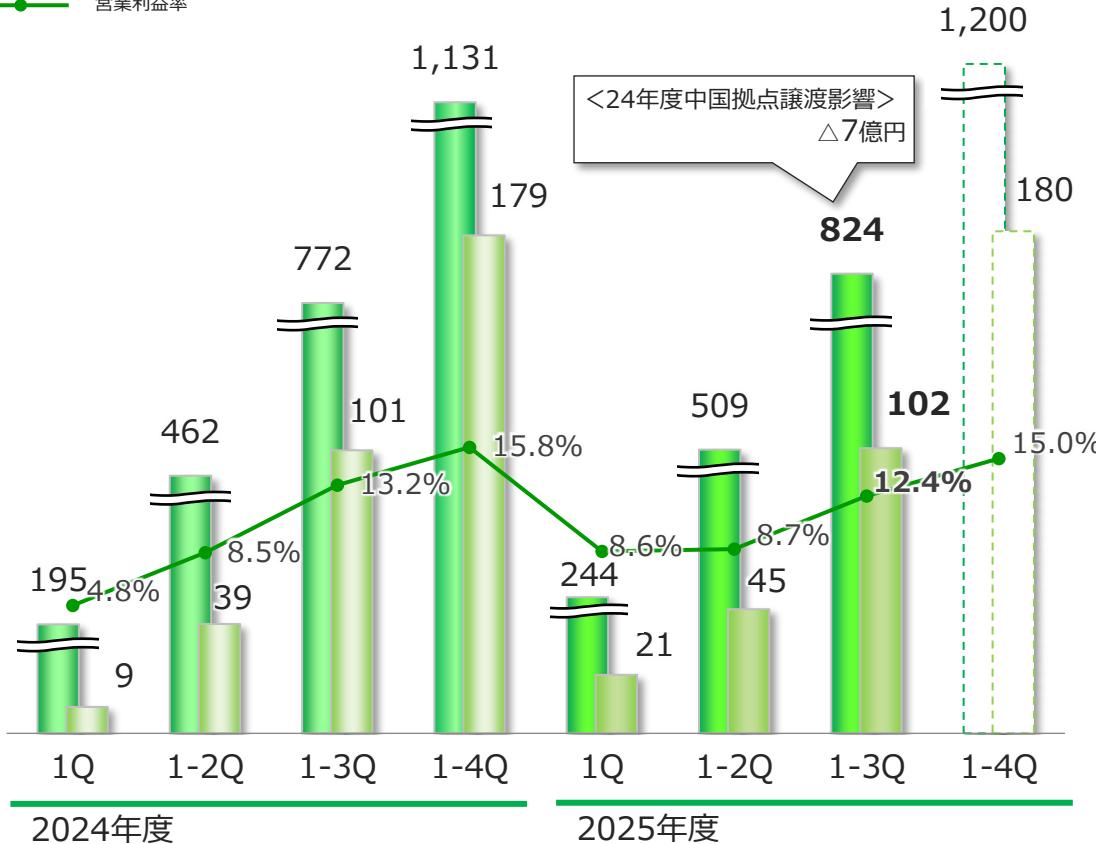


産業電池電源

増収増益

売上高・営業利益・利益率 (累計) (億円)

売上高
営業利益
営業利益率



2025年度 第3四半期商況 (前年比：4-12月)

➤ [常用 (国内)]

案件の増加に加えて、前期からの期ズレ影響もあり
売上高は増加

➤ [非常用 (国内)]

前年から引き続き原子力向けやデータセンター需要の
拡大による販売好調に加えて、通信関係 (HVDC) や
コンビニ向けなどで売上高は大きく増加

➤ [フォークリフト用 (グローバル)]

販売台数は減少も売価見直しにより売上高は横ばい

増減益要因 (前年比：4-12月)

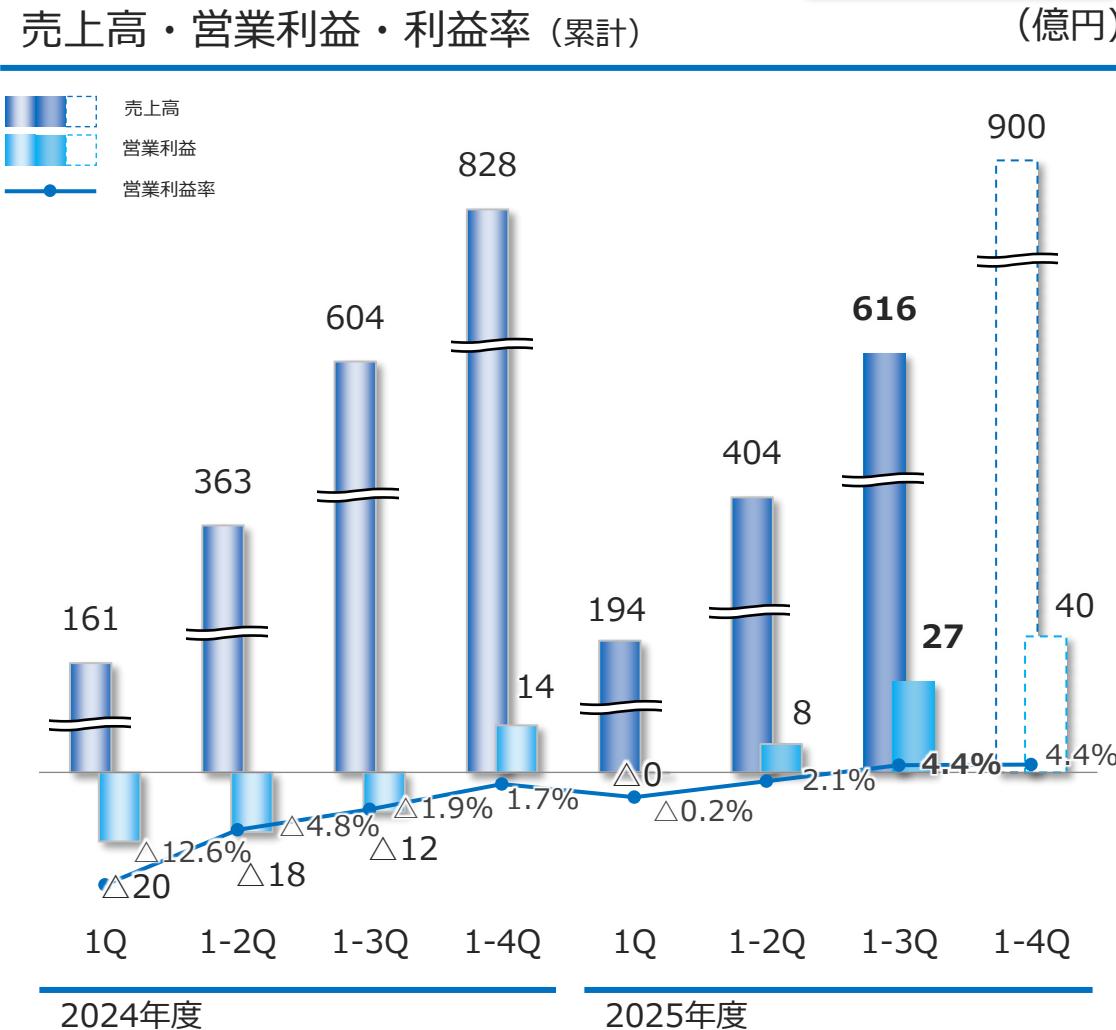
数量・構成変化	+31	非常用・常用の案件増加
売価	△2	アンチモンの価格スライドがあったもの の、低利益率の案件増加により悪化
原材料価格	△12	国内鉛建値は下がっているものの、 アンチモンなど一部原材料の高騰影響
経費等	△17	

2. セグメント別業績 (車載用リチウムイオン電池)



車載用リチウムイオン電池

増収増益



2025年度 第3四半期商況 (前年比：4-12月)

- [HEV] ホンダ向け販売数量が大きく拡大しており売上高は増加
- [PHEV] 三菱自動車向けの販売数量の増加により売上高は増加
- [12V LiB] 販売数量の減少により売上高は減少

増減益要因 (前年比：4-12月)

数量・構成変化	+19	HEV・PHEV用の販売数量の増加
売価	+28	売価見直しにより増加
原材料価格	+14	リチウム市況下落に伴う良化
経費等	△22	

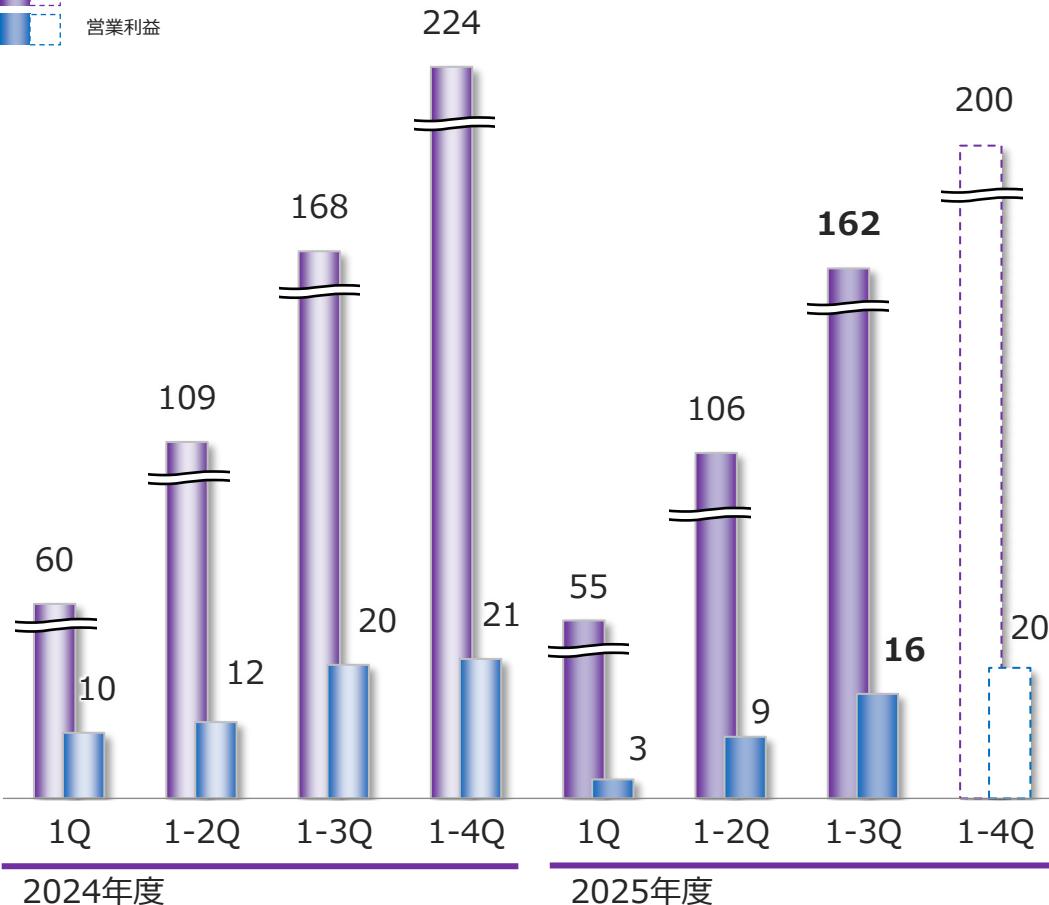
2. セグメント別業績 (特殊電池およびその他)



特殊電池およびその他

売上高・営業利益（累計）

売上高
営業利益



減収減益

(億円)

2025年度 第3四半期商況 (前年比：4-12月)

➤ [潜水艦用リチウムイオン電池]

契約単価見直しにより売上高は減少

➤ [航空機用リチウムイオン電池]

新設向け・エアライン（補修）向けともに売上高は減少

増減益要因 (前年比：4-12月)

航空機用リチウムイオン電池の減少などに加えて、研究開発費や管理部門経費の増加により減益

3. 貸借対照表

・現金及び預金	△279	・設備を含めた仕入債務	+33
・売上債権	△5	・短期借入金	△64
・棚卸資産	+226	・コマーシャルペーパー	+65
・その他	△40	・未払金等	△69
		・その他	+75
流動資産		(億円)	
	3,105		
	(△98)		
有形固定資産		流動負債	
	2,471		1,900
	(+275)		(+38)
無形固定資産		固定負債	
	43 (△5)		1,106
			(△59)
投資その他の資産		純資産	
	1,545		4,157
	(+54)		(+247)
総資産 7,163 (+226)		(注) 2025/12末時点 増減は2025/3末対比	
・建物及び構築物	+3	・長期借入金	△87
・機械装置及び運搬具	+126	・リース債務	+16
・土地	+15		
・使用権資産	+13		
・建設仮勘定	+107		
・投資有価証券	+34	・利益剰余金	+135
・退職給付に係る資産	+8	・その他有価証券評価差額金	+21
・リース債権	+5	・為替換算調整勘定	+77
		・退職給付に係る調整累計額	△17
		・非支配株主持分	+29

ポイント

- ▶ BEV関連投資や配当金支払い、法人税納付などで現金及び預金が減少
- ▶ 主に産業電池電源で需要期に向けた在庫が増加
- ▶ HEV用電池の製造設備稼働およびBEV用電池の製造に向けた投資により有形固定資産が増加

	2025/3末	2025/12末
自己資本比率	50.0%	51.5%
借入金総額	1,057億円	971億円

2026年3月期 事業環境認識と業績予想

1. 2026年3月期 第4四半期の事業環境認識



自動車 電池	国内	<p>新車向けは引き続き売価見直しが進むとともに、補修向けは堅調を想定</p> <ul style="list-style-type: none">➢ <新車向け> アンチモンなどの価格転嫁を含めた売価見直しが進むとともに、販売数量は当初計画並みを想定➢ <補修向け> 猛暑寒波や車のライフサイクル長期化による販売数量の増加で引き続き堅調を想定
	海外	<p>主にトルコでの苦戦があるものの、アセアン・豪州など主力拠点は好調を想定</p> <ul style="list-style-type: none">➢ <アセアン> タイ・ベトナムを中心に好調継続を想定➢ <欧州・トルコ> 欧州は需要期で持ち直すものの、トルコは市況低迷による国内販売の苦戦が継続➢ <豪州> 引き続き「Made in Australia」による堅調を維持
産業電池電源		<p>非常用は高利益率のリフォーム案件が好調継続するとともに引き続き売価見直しも進む</p> <p>常用は案件の期ズレなどがあるものの好調な市場環境は継続を想定</p> <ul style="list-style-type: none">➢ <非常用> インフラ老朽化による更新需要によるリフォーム案件が好調、売価見直しも引き続き進むと想定➢ <常用> 補助金や事業申請などの顧客都合での期ズレがあるものの、受注状況自体は好調継続➢ <フォークリフト> 国内・海外ともに安定的に推移
車載用 リチウムイオン 電池		<p>HEV向けは売価見直しに加えて、ホンダ・トヨタ向けなどの物量増を想定</p> <p>PHEV向けは4Qも引き続き厳しい状況が続くものの、ESS向けの好調な状況による生産増を想定</p> <ul style="list-style-type: none">➢ <HEV> 売価見直しに加えて、ホンダ・トヨタ向けの物量増加を想定するものの、新設ラインの償却負担が発生➢ <PHEV> 物量は当初計画に比べ減少傾向➢ <ESS> 好調な需要環境による生産増を想定
特殊電池 および その他		<p>潜水艦向け・航空機向けともに需要環境に大きな変化はなし</p> <ul style="list-style-type: none">➢ <潜水艦向け・航空機向け> 需要環境に大きな変化はなし➢ <管理部門> 若干の経費減を想定

2. セグメント別業績予想の修正



		2024 年度 実績		2025 年度 当初予想 (B)		2025 年度 修正予想 (A)		(億円) 増減 ((A)-(B))	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)
自動車電池	国内	1,019	107 (10.5)	1,000	110 (11.0)	1,100	115 (10.5)	+100	+5 (△0.5)
	海外	2,601	187 (7.2)	2,500	180 (7.2)	2,600	190 (7.3)	+100	+10 (+0.1)
産業電池電源		1,131	179 (15.8)	1,300	190 (14.6)	1,200	180 (15.0)	△100	△10 (+0.4)
車載用リチウムイオン電池		828	14 (1.7)	1,000	20 (2.0)	900	40 (4.4)	△100	+20 (+2.4)
特殊電池およびその他		224	21 (9.5)	200	20 (10.0)	200	20 (10.0)	-	- (-)
合計		5,803	507 (8.7)	6,000	520 (8.7)	6,000	545 (9.1)	-	+25 (+0.4)

セグメント別修正理由

- <自動車電池（国内）> 新車向けを中心とした売価見直しおよび補修の好調を反映して売上高・営業利益を上方修正
- <自動車電池（海外）> トルコの苦戦があるが、主に ASEAN の好調および米国 IRA 補助金の影響で売上高・営業利益を上方修正
- <産業電池電源> 常用分野における案件の期ズレ影響を反映して売上高・営業利益を下方修正
- <車載用リチウムイオン電池> PHEV 向けの物量減を反映して売上高は下方修正
HEV 向けの売価見直しや物量増を反映して営業利益は上方修正

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

3. 売上高・利益・配当予想の修正



(億円)

	2024 年度実績		2025 年度実績・予想			増減 ((A)-(B))	(前期比)
	3Q累計実績 (4-12月)	通期実績 (4-3月)	3Q累計実績 (4-12月)	当初予想 (4-3月) (B)	2月通期予想 (4-3月) (A)		
売上高	4,268	5,803	4,330	6,000	6,000	±0	(+3.4%)
営業利益 (利益率)	318 7.4%	500 8.6%	380 8.8%	510 8.5%	535 8.9%	+25 +0.4P	(+6.9%)
のれん等償却前営業利益 (利益率)	323 7.6%	507 8.7%	386 8.9%	520 8.7%	545 9.1%	+25 +0.4P	
経常利益	287 6.7%	463 8.0%	368 8.5%	490 8.2%	515 8.6%	+25 +0.4P	(+11.1%)
親会社株主 当期純利益 (利益率)	184 4.3%	304 5.2%	221 5.1%	330 5.5%	360 6.0%	+30 +0.5P	(+18.4%)
のれん等償却前親会社株主 当期純利益 (利益率)	189 4.4%	311 5.4%	226 5.2%	340 5.7%	370 6.2%	+30 +0.5P	
EPS (1株当たり当期純利益)	183.39 円	303.25 円	220.03 円	328.99 円	358.88 円	+29.89 円	
配当金 (円／株) (25年度は予想)	-	75 円 (通期)	-	80 円 (通期)	90 円 (通期)	+10 円	
相場情報／前提条件	国内鉛建値 (万円／t)	38.02 万円／t	37.64 万円／t	35.72 万円／t	36.9 万円／t	37.9 万円／t	+1.00 万円／t
	L M E (US\$/t)	2,071 US\$/t	2,046 US\$/t	1,961 US\$/t	2,100 US\$/t	2,100 US\$/t	±0 US\$/t
	為替 (円／US\$)	153.03 円／US\$	152.57 円／US\$	149.30 円／US\$	145.00 円／US\$	150.00 円／US\$	+5.00 円／US\$

業績の見通し

- インフレに伴う原材料価格や物流費・人件費の高騰や円安影響などがあるものの、3Q時点の上振れおよび各セグメントの事業環境を加味して営業利益・経常利益を上方修正しています。
- それに加え政策保有株式の売却などにより当期純利益を上方修正しています。
- これらの結果、期末配当金を+10円して、通期配当金90円（期末配当金60円）に増配します。

本資料は、当社グループの業績等についての一般的な情報提供を目的とするものです。本書に含まれる予測、予想、計画その他の将来情報は、当社において利用可能な情報に基づく現時点における当社の認識又は判断に基づくものであり、実際の結果はこれらの情報と大きく異なることがあります。また、当社は、本資料に記載された情報に変更又は更新があった場合にも、その内容を提供又は開示する義務を負うものではありません。

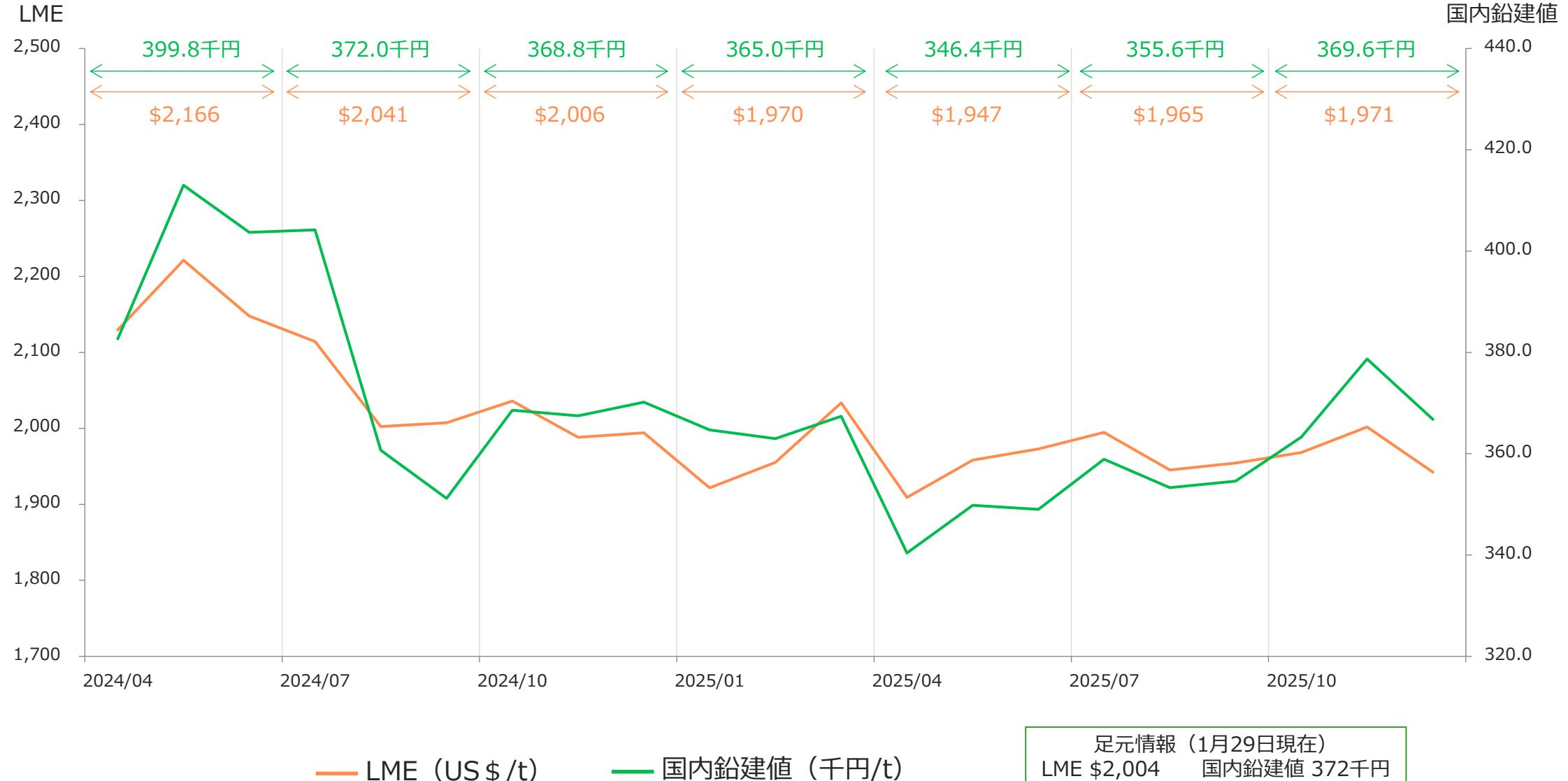


連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
コーポレート室（広報） 青木 裕・柿島 辰年・田中 祥太
Tel : 075-312-1214
<https://www.gs-yuasa.com/jp>

參考資料

参考資料. 原材料価格の推移

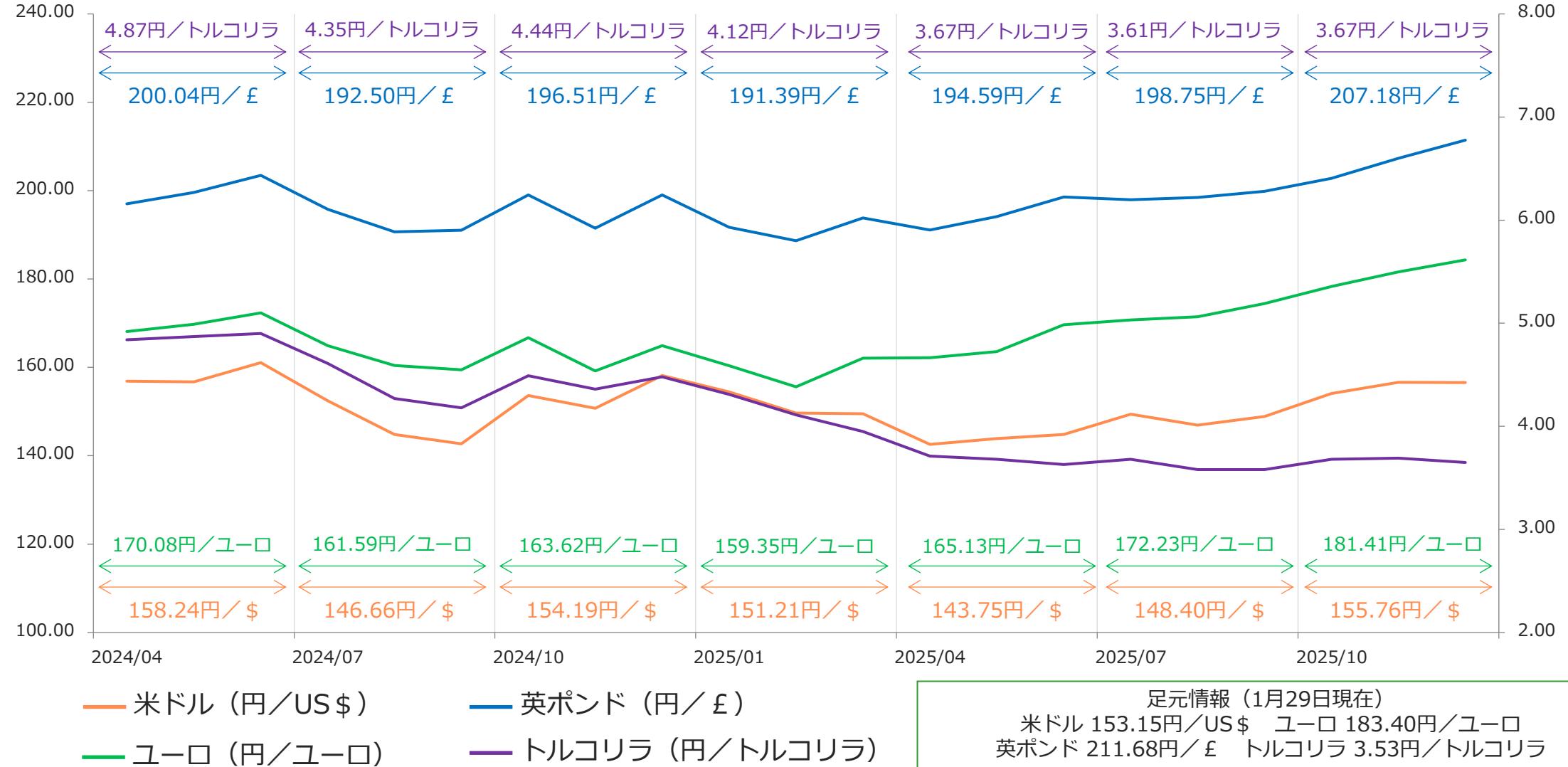


参考資料. 為替の推移



米ドル・ユーロ・英ポンド

トルコリラ



足元情報 (1月29日現在)

米ドル 153.15円/US\$ ユーロ 183.40円/ユーロ
英ポンド 211.68円/£ トルコリラ 3.53円/トルコリラ

参考資料. セグメント別業績の四半期推移

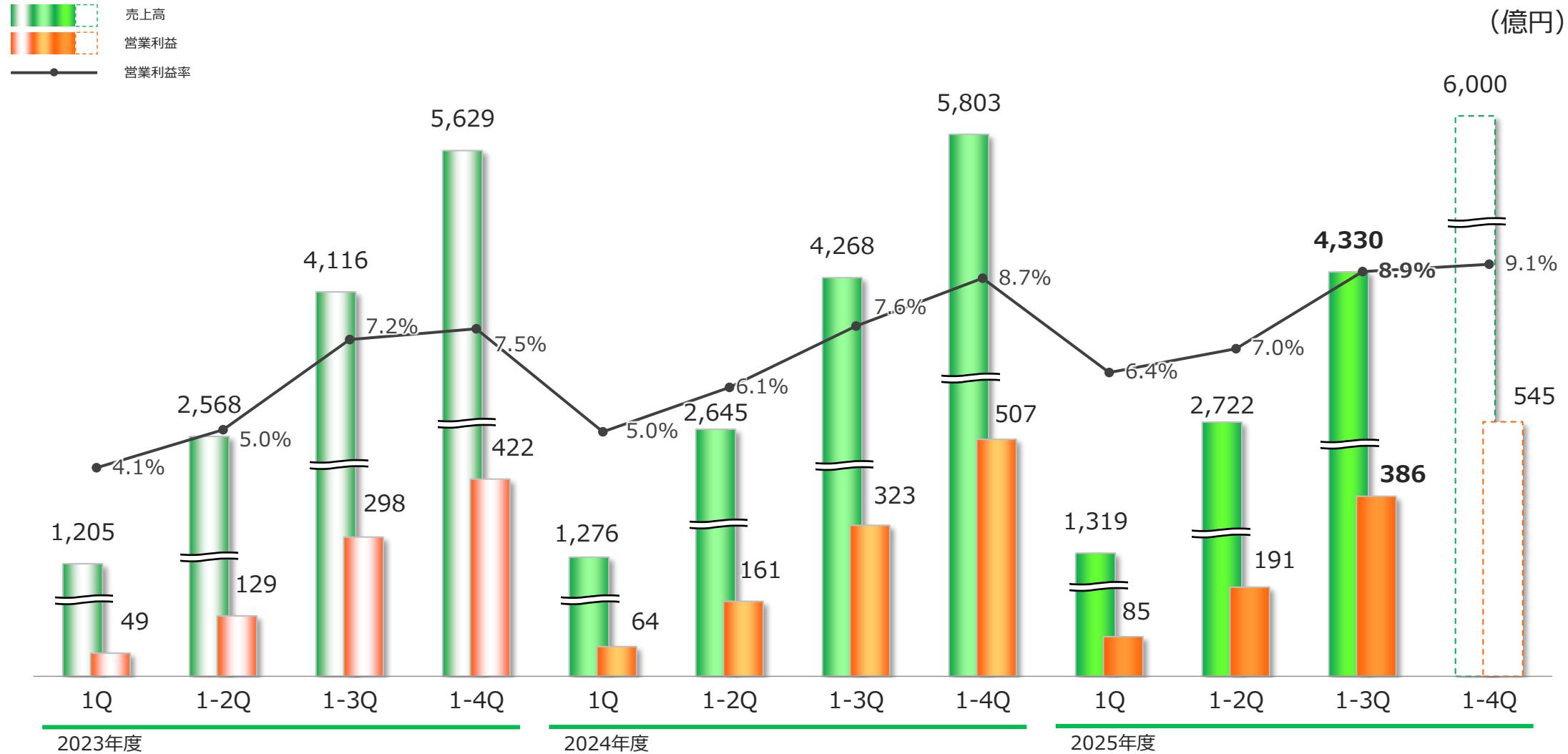


(億円)

2024 年度											2025 年度											
第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第3四半期 (10-12月)		第4四半期 (1-3月)		通期 (4-3月)		第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第3四半期 (10-12月)		第4四半期 (1-3月)		通期見通し (4-3月)				
	売上高	営業 利益 (利益率:%)	売上高	営業 利益 (利益率:%)	売上高	営業 利益 (利益率:%)	売上高	営業 利益 (利益率:%)	売上高	EBITDA (EBITDA マージン:%)		売上高	営業 利益 (利益率:%)	売上高	営業 利益 (利益率:%)	売上高	営業 利益 (利益率:%)	売上高	営業 利益 (利益率:%)	売上高	EBITDA (EBITDA マージン:%)	
自動車 電池	国内	208	16 (7.8)	227	17 (7.6)	296	37 (12.5)	288	36 (12.6)	1,019	107 (10.5)	136 (13.3)	224	17 (7.6)	247	20 (8.1)	309	42 (13.6)	-	-	1,100	115 (10.5)
	海外	652	48 (7.4)	623	46 (7.3)	718	49 (6.8)	608	45 (7.3)	2,601	187 (7.2)	271 (10.4)	603	44 (7.4)	629	47 (7.5)	716	70 (9.7)	-	-	2,600	190 (7.3)
産業 電池 電源	国内	195	9 (4.8)	267	30 (11.2)	310	62 (20.1)	360	77 (21.4)	1,131	179 (15.8)	197 (17.4)	244	21 (8.6)	265	24 (8.9)	315	58 (18.3)	-	-	1,200	180 (15.0)
	海外	161	△20 (△12.6)	203	3 (1.3)	241	6 (2.5)	224	25 (11.4)	828	14 (1.7)	75 (9.1)	194	△0 (△0.2)	211	9 (4.1)	212	18 (8.7)	-	-	900	40 (4.4)
車載用 リチウム イオン 電池	国内	60	10 (16.9)	50	2 (3.3)	58	9 (15.0)	57	1 (1.6)	224	21 (9.5)	75 (33.3)	55	3 (5.3)	51	7 (12.7)	57	7 (11.6)	-	-	200	20 (10.0)
	海外	60	10 (16.9)	50	2 (3.3)	58	9 (15.0)	57	1 (1.6)	224	21 (9.5)	75 (33.3)	55	3 (5.3)	51	7 (12.7)	57	7 (11.6)	-	-	200	20 (10.0)
合計		1,276	64 (5.0)	1,369	97 (7.1)	1,623	163 (10.0)	1,535	184 (12.0)	5,803	507 (8.7)	754 (13.0)	1,319	85 (6.4)	1,403	106 (7.6)	1,608	195 (12.1)	-	-	6,000	545 (9.1)
																					805 (13.4)	

(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。EBITDAはのれん等償却前営業利益+減価償却費です。

参考資料. 売上高・営業利益・利益率推移 (3か月情報)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

IAS 第29号「超インフレ経済下における財務報告」の概要

➤超インフレ経済下とは、3年累計インフレ率が、100%に近づいているか超えている状態

1.日本円換算時に、資産・負債項目（BS項目） および収益・費用項目（PL項目） を決算日レートで換算しなければならない

	従来	IAS 第29号
資産・負債項目（BS項目）	決算日レート	決算日レート
収益・費用項目（PL項目）	期中平均レート	

2.物価指数（CPI）の変動を財務諸表に反映する必要がある

■貸借対照表への影響

- 棚卸資産、有形・無形固定資産などの非貨幣性項目は取得日・取引日から、資本金は出資時点から、それぞれ期末時点までの物価変動に応じて修正再表示
- 利益剰余金は期末時点までの累積的な影響を反映

■損益計算書への影響

- すべての科目を、取引時点から期末時点までの物価変動に応じて修正再表示

➡ インフレ影響による差分を営業外損益 「**正味貨幣持高による損益**」 に計上

参考資料. 今後のIR予定



日時	イベント	登壇者
5月13日（水） 15:00予定	2026年3月期 決算発表 (報道機関向け)	代表取締役社長 阿部 貴志 取締役CFO 松島 弘明
同日 16:00～17:00予定	2026年3月期 決算説明会 (機関投資家・アナリスト向け)	同上